

# ぐんまの公共交通を守るために

日時：2024年11月26日(火)13:30～16:30

会場：群馬県公社総合ビル多目的ホール

前橋市大渡町1-10-7(アクセスは裏面)

◆群馬県は全国一のマイカー王国で、公共交通の維持が非常に厳しい状況にあります。人口減・2024年問題・ドライバー不足・エネルギー高騰が苦境に拍車をかけています。交通弱者でも無理なく移動できる地域づくりのため、公共交通の再構築が問われます。

## 基調講演

13:40～15:10

## 「持続可能な地域の形成に求められる公共交通の再構築」

講師：吉田 樹氏（前橋工科大学特任教授）

- 公共交通の必要性を問い直す
- 地域公共交通の再構築を図る手法
- 現状を変える「一歩」を踏み出すために



## パネルディスカッション

15:20～16:30

## 地域公共交通を誰がどのように支えていくべきか？

### パネリスト

- 細谷精一氏（前橋市副市長）
- 神戸領栄氏（下仁田町企画課長）
- 芹澤始氏（上信電鉄(株)常務取締役）
- 内山恵子氏（環境カウンセラー）
- 菅野歩未氏（高崎商科大学生）

アドバイザー 吉田 樹氏

コーディネーター 熊倉浩靖氏（高崎商科大学特任教授）

参加費：500円

## 申込み・お問合せ

電話またはWEBフォームでお申し込みください。

TEL 027-289-5944(月～金:9～17時) WEB QRコードから入力⇒



主催：群馬県スマートムーブ推進協議会（群馬県地球温暖化防止活動推進センター内）  
後援：上毛新聞社、群馬テレビ、エフエム群馬、ほか交通関係5団体



# SDGs目標11

## 持続可能なまちづくり

### 群馬県の交通の現状

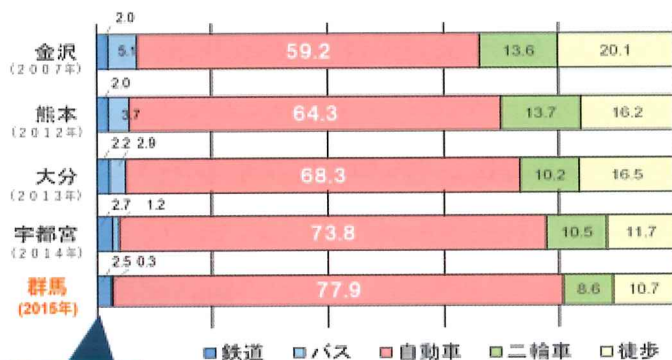
11.2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

11 住み続けられるまちづくりを



公共交通利用者は、全体の2.8%  
100mの移動にも、4人に1人が、自動車を利用

交通手段構成比の他都市圏との比較



鉄道・バス  
あわせても2.8%

距離帯別の代表交通手段構成比



100m未満でも  
4人に1人は自動車を利用

群馬県交通イノベーション推進課資料

### 【吉田 樹氏プロフィール】 福島大学 経済経営学類 教授 / 前橋工科大学 学術研究院 特任教授

首都大学東京 (現: 東京都立大) 都市環境学部助教を経て福島大学へ着任。

2023年から前橋工科大にも籍を置く。専門は地域交通政策。

全国各地の公共交通政策に携わり「現場での実践」に基づく理論構築に努める。

交通政策審議会地域公共交通部会臨時委員。

上毛電鉄とわたらせ渓谷鐵道の地域交通・デザイン推進協議会などにも参画。

博士(都市科学) NHK「クローズアップ現代」や「特報首都圏」などでの解説が好評。



### 【会場までの路線バスアクセス】

#### <往路>

前橋駅前6番 群馬中央バス・新前橋駅西口行

13:00発 公社ビル入口 13:11着

前橋駅前5番 群馬バス・イオンモール高崎行

13:05発 公社ビル入口 13:13着

#### <復路> 公社ビル入口発

16:48⇒17:10 前橋駅(群馬中央バス)

17:07⇒17:25 前橋駅(群馬バス)



### 主催: 群馬県スマートムーブ推進協議会

(事務局: 群馬県地球温暖化防止活動推進センター)

前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社ビル6階

TEL 027-289-5944 FAX 027-289-5945

URL: <https://www.gccca.jp/>